科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
日常生活援助技術	１年次　前期	必修	講義	２単位（６０時間）	鹿島　ゆかり※

授　業　概　要

日常生活援助に関わる技術を、看護形態機能学の知識をもとに学ぶ。ここでは、演習やロールプレイを通して、様々な生活の状況や場面で行われる日常生活援助技術を根拠に基づいて実施し、評価する視点の獲得を目指す。また、実践した看護技術を振り返ることを通して、より良い看護技術について考える機会とする。

到　達　目　標

１．原理原則に基づいた日常生活援助技術が実施できる。
２．日常生活援助を受ける人の生活状況を把握するために必要な情報が分かる。
３．情報をもとに、必要な日常生活援助技術を見出す。
４．原理原則に基づいた日常生活援助技術を、様々な生活の状況や場面に合わせて実施する。
５．日常生活援助技術の評価の視点が分かる。
６．看護技術の習得に向けて興味･関心を高めると共に、訓練･経験を積み重ねることの重要性が分かる。

実務経験のある教員

鹿島　ゆかり、岡本　亜希、大谷　佳奈：臨床経験をふまえ日常生活援助技術の意義・方法・根拠について教授する。

回	学　習　内　容	担当教員
1-30	１．生活行動に共通する日常生活援助技術 ２．日常生活援助技術の考え方 １）原理原則　２）状況に合わせた技術　３）事例に合わせた技術 ３．看護職が行う日常生活援助技術　Part1「動く・眠る看護技術」 １）体位変換　２）ポジショニング　３）杖歩行　４）歩行器 ５）車椅子　６）ストレッチャー　７）イブニングケア ４．看護職が行う日常生活援助技術　Part２「食べる看護技術」 １）栄養状態　２）食事の援助　３）安全な経口摂取のへの援助 ４）経管栄養法、胃ろう ５．看護職が行う日常生活援助技術　Part３「排泄する看護技術」 １）排尿・排便　２）オムツ交換 ６．看護職が行う日常生活援助技術　Part４「お風呂に入る看護技術」 １）入浴　２）清拭　３）手浴　４）足浴　５）手浴　６）口腔ケア ７）身だしなみ　８）寝衣交換　９）陰部洗浄 ７．複合技術演習 ８．臨床判断演習	鹿島　ゆかり　※ 大谷　佳奈　※ 岡本　亜希　※

学　習　方　法

講義　グループワーク

評　価　方　法

看護技術試験　レポート　科目修了試験

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ　茂野香おる 他 著　医学書院
系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ　任和子 他 著　医学書院
看護技術プラクティス第4版　竹尾恵子監修　学研
日常生活行動から見るヘルスアセスメント　看護形態機能学を用いて　大久保暢子編集　日本看護協会出版会